

**京都大学教育研究振興財団助成事業  
成 果 報 告 書**

2021年4月6日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 理学研究科

職 名 理学研究科長

氏 名 國府 寛司

助成の種類	<b>令和2年度・社会連携助成</b>			
事業名	理学への小・中学生の知的好奇心増進事業			
実施期間	令和2年7月2日～令和3年3月31日			
実施場所	オンライン『双方向:南丹市立美山小学校、オンデマンド:けいはんな科学体験フェスティバル2021・地域ふれあいサイエンスフェスタ2020(亀岡市)、WEBサイト』			
参加者	総数 95名および一般多数	内 訳 オンライン双方向:45名、オンデマンド:50名、WEB動画掲載:一般多数		
成果の概要	<b>タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(小冊子)</b>			
会計報告	事業に要した経費総額	2,481,844 円		
	うち当財団からの助成額	2,000,000 円		
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 京都大学 理学研究科 運営費交付金		
	経費の内訳と助成金の使途について			
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)	
	物品費	1,796,938	1,418,516	
	旅費	0	0	
	謝金等	330,486	227,064	
	通信運搬費	2,310	2,310	
	印刷・製作費	0	0	
賃借料	0	0		
その他	352,110	352,110		
合 計	2,481,844	2,000,000		
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 新型コロナ禍で臨機応変な対応を求められるなか、運営費交付金と同様の柔軟な予算執行をすることができ、とても助かりました。			

## 成果の概要／國府 寛司

名称：理学への小・中学生の知的好奇心増進事業

概要：

事業をすべてオンラインで実施した。双方向型オンライン1件、オンデマンド型オンライン1件、WEBサイト上での19本の動画を配信した。合計で95名の参加者と一般多数の方々に動画を視聴いただいた。新型コロナ禍の中、オンラインでの実施を行うことで、理学への知的好奇心の増進を行うことができた。

### 1. 事業の日時等

#### (1) 京都府教育委員会との連携（双方型のオンライン取組）

2021年2月18日(木)

南丹市立美山小学校5・6年生45名を対象 オンライン双方型

#### (2) オンライン科学イベントへの出展（オンデマンド型のオンライン取組）

2020年11月28日(土)～12月13日(日)

地域ふれあいサイエンスフェスタ2020（亀岡市教育研究所） 参加者多数

2021年2月13日(土)～2月28日(日)

けいはんな科学体験フェスティバル2021（精華町） 50名

#### (3) WEBサイトでの動画配信

2021年3月30日(火)より

動画配信用WEBサイトを公開

<https://sacra.sci.kyoto-u.ac.jp/online/movie/>

### 2. 内容

これまで、2017年度より対面イベントを実施してきたが、2020年度はコロナ禍の中、すべての取組をオンラインでの実施に切り替えた。大きくわけて、3種類の取組を行った。

#### (1) 双方型のオンライン取組

京都府教育委員会との連携のもと、南丹市立美山小学校と京都大学をオンラインTV会議ツールのZoomでつなぎ、適宜、会場と話し手とで質疑応答をしながら、進めた。工作を実施し、事前に工作用の物品を人数分、宅配便で会場にお送りし、当日は小学校の先生方にもご協力をいただきながら進めた。

授業は、「光の不思議」というタイトルで、回折格子を用いた虹の実験、液晶テレビなどにも使われている偏光板の実験を行った。これらの実験は、参加児童1人につき1セットいきわたるように準備し、児童が主体的に実験を行えるようにした。

#### (2) オンデマンド型のオンライン取組

WEB サイト上で配信される動画制作および実験物品の作成を学生が行った。亀岡市教育研究所による地域ふれあいサイエンスフェスタ 2020 では、「虹の秘密を探ろう」というタイトルで約4分の動画を制作し、亀岡市教育研究所のWEB サイトで期間中に参加者に公開された。

また、けいはんな科学体験フェスティバル 2021 では、回折格子と偏光板の児童配布用の実験セットを大学生が準備し、フェスティバル事務局より各参加者の自宅に郵送していただいた。フェスティバルのWEB サイト上に動画を準備し、各参加者は自宅から動画のオンデマンド配信を観ながら、工作に取り組んだ。

#### (3) WEB サイトでの動画配信

オンラインでの動画配信用 WEB サイトを構築し、2021年3月30日（火）より動画19本の配信を開始した。

WEB アドレス：

<https://sacra.sci.kyoto-u.ac.jp/online/movie/>

### 3. 成果

多くの小学生に対して理学への知的好奇心の増進を行うことができた。本年度は、コロナ禍の中、敢え無くオンラインでの実施となったが、その一方で対面での実施のみであった本事業に、新たにオンラインでの理学への知的好奇心増進のための動画制作の枠組みを追加することができた。